

# 戦気 NO-38

Fighting Spirit

## 4月6日 後楽園ホール Ultimate Battle Vol.4 福本雄基 判定勝利!

4月6日、後楽園ホールで『Ultimate Battle Vol.4』が開催された。三谷大和ジムから前回日本スーパーフライ級タイトルマッチに出場した福本雄基がメインで登場。福本の戦績は15戦11勝3KO4敗。対戦相手は日本ライトフライ級9位の國重隆選手(28戦21勝2KO5敗2分:ワタナベジム)

1ラウンド、いきなり両者打ち合いとなる。國重選手は今月末に35歳を迎える。ボクサーとしては高齢である。自身自身のスタミナを考え、短期決戦と試合の主導権を握るための作戦と思われた。実際、國重選手の右フックは的確に福本の顔面を捉え、福本のパンチは空を切る場面が展開された。

2ラウンドも両者激しく打ち合う。特にお互いのボディ攻撃が激しさを増す。福本のいい左フックが決まった。

3ラウンドは手数には國重選手の方が多し。クリンチ、ホールディングが目立つようになる。國重選手は口を開けながら戦うことが多くなり苦しくなってきたのだろう。

4ラウンドも前回同様にクリンチが多く体力消耗戦が展開される。福本のボディ攻撃が再三決まり出す。

5ラウンドも福本のボディ攻撃は続き、國重選手は相当苦しいようだ。國重選手の身体が海老のように曲がる場面がたびたび出てくる。

6ラウンド、福本の目は輝き戦う気力に満ちている。一方、國重選手の目の輝きは薄れてきている。福本の連続ボディ攻撃からラッシュに移ると國重選手の腰が一瞬落ちる。

7ラウンド途中パッシングもあり身体と身体が絡み合い押し合いクリンチの連続で凄く体力消耗戦だ。

8ラウンド両者気力を尽くした打ち合いの中で試合が終了し読み上げられたジャッジスコアは3:0(78:77.78:75.78:75)で福本雄基の勝利。福本はこの試合に賭けた感情が一気に爆発し歓喜のあまりリングに泣き崩れた。

### 福本雄基選手の言葉

前回の日本タイトルマッチ戦に負けて一時は引退も考えましたが周りの人たちの声援で今日の試合に勝つことが出来ました。特に家族みんなの応援に感謝します。ありがとうございます。また、三谷ジムで最初に日本チャンピオンベルトを巻きたいのでこれからも応援よろしくをお願いします。



### ごんごちゃんは見たい!!

青森県弘前市に、りんご農園を営む木村秋則さんという方がいます。NHKテレビで放映されたドキュメンタリー番組「プロフェッショナル仕事の流儀」で『奇跡のりんご』で紹介された方で無農薬・無肥料の自然栽培を実践されており、現在は木村さんの評判は全国区の人気となり1年のうち200日は全国に講演、農業指導に飛び回っている方です。自然栽培が理解されず周りの農家から馬鹿にされる村八分になりながらも悪戦苦闘の末、やっと2つのりんごが実るまで無収入の11年間。可能性を信じ、ありとあらゆることの実践課程の紆余曲折。忍耐強い自然観察と研究の結果「見えないところに大切なものがある」という結論。木村さんは私たちに一つのことを成し遂げる時の信念・観察・努力・実践というものを教えてくれています。

発行者:三谷大和  
編集者:岩井 淑  
八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム  
電話 & Fax:047(486)2476 ツヨクナロー  
メール:mitani-y@khaki.plala.or.jp  
URL:http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの  
ごんごちゃんです!



4月6日 後楽園ホール MAIN 福本雄基vs國重 隆



5ラウンド、福本のボディ攻撃がしつこく続く

### 三谷会長のコメント

今日の試合は最初から泥試合になると思っていたので、福本には技術で勝負するより体力勝負を伝えていました。相手の足を止めるために最初からボディ攻撃を福本に指示し回を重ねることに結果が出てきました。相手の腰が丸くなってきた最後はカウンターを恐れず行け行けで積極的に攻撃させた。今回は体力勝負だったけれど福本は根性で良く戦った。

### 川瀬伊達男 TKO負け(3/27)

3月27日、神戸サンボーホールにおいて『第78回フレッシュボーイ』大会が開催され、三谷ジムから川瀬伊達男が出場した。川瀬の戦績は17戦8勝5KO8敗1分。対戦相手は武本康樹選手(20戦15勝5KO3敗2分:千里馬神戸ジム)

お客様に楽しんで頂く試合、お客様に恥ずかしくない試合をしたいとインタビューに答えてリングに上がった川瀬だったが試合ペースは終始武本選手に掴まれてしまい苦しい試合展開だった。

1ラウンド川瀬は頭を左右に振り低い体勢から踏み込みざまに左右のフックを放つが当たらない。対する武本選手の左ジャブは的確に川瀬の顔面を捉える。このような展開が2ラウンド、3ラウンドと進み川瀬は距離を制御できない苦しい展開が続いていった。

4ラウンドも武本選手が主導権を握った同様な展開で左ジャブに続く右ストレートが川瀬の左こめかみにヒットし、川瀬は膝から崩れるようにダウン。なんとか立ちあがったがダメージは大きくレフェリーはそのまま1分57秒TKO宣言をおこなった。

### スケジュール

5月2日 鬼ヶ島竜

### 編集後記

3月11日、未曾有の東日本大震災が発生し、今なおたくさんの方々が避難所生活をしています。被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。後楽園ホールの入口でも復興支援にむけた募金活動が行われています。私は義援金に応募することしかできませんが、選手たちは自己鍛錬を続け、良い試合を戦うことによって被災者の皆さまに勇気と元気を伝えられたらいいのかなと思います。